

2021年8月30日

受験申込者各位

公益社団法人 日本生体医工学会
第2種ME技術実力検定試験実行委員会

第42回第2種ME技術実力検定試験における 新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応について

第42回第2種ME技術実力検定試験の実施については、下記のとおり COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の感染拡大防止措置を講じた上で、9月12日（日）に実施する予定です。

なお、今後も本試験の実施方針などに変更が生じた場合は、公益社団法人日本生体医工学会 ME 技術教育委員会のホームページ（<https://megijutu.jp/index.html>）に掲載してお知らせいたします。

記

新型コロナウイルス感染拡大防止における注意事項

(1) 受験を自粛していただきたい方

以下の条件に当てはまる場合は、受験を控えてください。

- 試験当日の朝に、発熱(37.5度以上)、咳、喉の痛みなどコロナを疑わせる症状がある場合
- 試験日前1週間以内に、発熱(37.5度以上)、咳、喉の痛みなどコロナを疑わせる症状がある場合
- 試験日前2週間以内に、新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある場合
- 試験日前2週間以内に、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 試験日前2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等へ渡航した場合、または当該在住者との濃厚接触がある場合

当初、個別の理由（発熱や濃厚接触等を含む）での受験料返還はしない取り扱いとしておりましたが、以下①～④の条件に該当するために受験ができなかった受験申込者については、必要書類を提出することにより特例として受験料を返還することとしました。詳細はホームページに掲載した「第42回第2種ME技術実力検定試験における受験料返還対応について」を参照してください。

① 新型コロナウイルス感染症に罹患しており、退院または宿泊療養等の解除が認められていない方

試験日において上記の状況に置かれていたことが証明できる、新型コロナウイルス感染症に関する検査結果（陽性）などの書類の写しが必要です。

② 保健所や医師等から濃厚接触者に該当するとされ、自宅待機の解除が認められていない方

試験日において上記の状況に置かれていたことが証明できる、保健所等から濃厚接触者に該当すると連

絡があった際に提示された文章等の写しが必要です。

③ 海外から入国し、検疫所が指定した施設または自宅などでの待機の解除が認められていない方
試験日において上記の状況に置かれていたことが証明できる、入国時の検疫手続きで記入した健康カード等の写しが必要です。

④ 試験1週間前～試験当日の朝に、発熱(37.5度以上)、咳、喉の痛みなどコロナ感染を疑わせる症状がある方
試験前後1週間以内に受診された、新型コロナウイルス感染症の疑い(発熱や咳などの症状)に係る診断書の写しが必要です。

(2)入場時の対応

- 受験生の入場開始前に、ドアノブ、机、椅子の背もたれなどのウイルスが付着している可能性がある場所の消毒を実施いたします。
- 試験会場入場時に検温を行います。発熱(37.5度以上)や、咳を繰り返すなどの新型コロナウイルス感染症の感染疑いがある場合は、感染拡大防止のために必要な措置として入場をお断りさせていただきます。
- 不織布マスクを持参し正しく着用してください。マスクの着用にあたっては、鼻と口を確実に覆ってください。ただし写真照合時には、試験監督者の指示に従い、一時的に外していただきます。ウレタン製マスクやフェイスシールドの着用は認められません。
- 試験会場に到着した後は、会場入口に設置した手指消毒液の使用や、トイレなどでの手洗いをお願いします。なお携帯用手指消毒液や除菌シートを持参しても構いませんが、試験中の使用はできません。
- 検温やトイレ等には、一方向の動線を設けたり、距離を保つためのフロアマーカを配置したりしますので、ソーシャルディスタンスの確保にご協力をお願いします。

(3)試験会場の対応

- 今年度の試験では、食事による感染リスクを排除するために会場内では食事禁止(オニギリなどの軽食も不可)とします。飲水は可能です。
- 試験室の座席配置は、ソーシャルディスタンスを確保した配席をしております。
- 法令を遵守した上で、会場ごとに適した換気を実施します。試験中に窓や扉の開放、換気扇の使用等を行うことがあります。試験中に音や温度変化が生じる可能性があることをご了承ください。室温の高低に対応できるように服装に注意してください。窓がない会場などでは、空調設備による機械換気で十分な換気効果が得られるかを事前に確認した上で、機械換気に対応いたします。
- 試験会場では、試験時間外であっても他者との会話は自粛してください。

(4)試験についての対応

- 今年度の試験では、感染拡大防止の観点から昼食のための時間を設けておりません。事前に食事をとるなどの対応をお願いします。さらに、試験時間短縮のために小論文を中止いたしました。
- 今年度の試験では、不測の事態により午後試験が中止となった場合などでも合否判定可能なように、

午前試験および午後試験の出題分野の配分を変更します。例えば基礎的な医学の問題は、第41回試験までは午前試験に出題されていましたが、第42回からは午前試験および午後試験に振り分けて出題されます。ただし、この措置は受験生が任意に午前のみ、午後のみ受験して合否判定できるというものではなく、災害等に備えたものです。

- 試験中に咳を繰り返すなどの体調不良が見られる場合は、試験監督者および医師の判断で受験をお断りすることがあります。
- 感染拡大防止対策の徹底にご協力いただけない場合や、当日試験会場で試験監督者等の指示に従わない場合は、受験をお断りすることがあります。
- 試験終了時において、一斉退場で密になる可能性がある場合などは、順次の退場をお願いすることがありますのでご協力をお願いします。

(5)その他

- 受験を自粛いただいた場合や、試験会場で入場をお断りした場合であっても、再試験はありません。
- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等に基づき、行政機関等から要請があった場合は個人情報を提供することがあります。
- 試験会場のゴミ箱は使用禁止です。試験問題や使用済みマスク、ゴミ等は各自お持ち帰りください。
- 試験会場（建物内および構内）は禁煙とします。喫煙室の利用もできません。
- トイレのハンドドライヤー等は使用禁止とします。ハンカチなどを持参して下さい。
- 受験者全員が安心して受験できるように、接触確認アプリ（COCOA）を利用するなどして、感染拡大防止にご協力をお願いします。



iPhoneの方は



Androidの方は

- 試験会場への移動に伴う新型コロナウイルス感染拡大防止のため、直行・直帰にご協力をお願いします。
- 試験監督者や会場スタッフは、事前の体調管理および当日の検温を実施するとともに、不織布マスクを正しく着用して、こまめな手指消毒やゴム手袋を着用して感染拡大防止に努めます。

以上